

第2回 学校評議員会の実施報告書

学校名 岐阜県立中濃特別支援学校

校長 青山 孝

所在地 関市桐ヶ丘2丁目3番地 電話 0575-24-1773

1 会議の名称 岐阜県立中濃特別支援学校を支える会

2 会議の構成

評議員	安井 喜代子	(有) セキカガク	取締役
	加藤 正文実	(社) 関青年会議所	理事長
	植野 明	向山町長寿会	会長
	菊池 啓子 (欠)	中部学院大学短期大学部	教授
	古田 裕彦	岐阜県立ひまわりの丘第一学園	次長
学校職員等	青山 孝	校長	
	棚橋 悦子	PTA会長	
	山田 真治	事務部長	
	山下 雅樹	教頭 (本校)	
	今井 滋行	教頭 (分教室)	
	杉本 雅晴	小学部主事	
	武藤 明美	中学部主事	
	小林 雅彦 (欠)	高等部主事 (本校)	
	鵜飼 陽一郎	高等部主事 (分教室)	
	山内 幸恵	教務主任	

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者から幅広く意見を求め、教育活動の活性化につなげるとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時：平成30年2月5日(月) 9:45~11:10
会場：中濃特別支援学校校長室
出席者：評議員4人、学校職員等9人

5 会議の概要 (1) 校長挨拶
(2) メンバーの紹介

- (3) 授業見学
- (4) 今年度の教育の報告
 - ア 学校評価アンケート結果について
 - イ 各部の報告
- (5) 授業見学及び概要説明についてのご意見・提言

意見1：ひまわりの丘第一学園の児童生徒がいる。普段は、調整連絡会及び担任とは懇談会で情報を共有し、連携を取っている。本日授業見学をした。温かい授業だった。進路については、4人が該当していて、全員進路先が決定している。日々の連携が大事である。

意見2：高等部の卒業式や体育祭、全校一緒に行う入学式に参加した。高等部の行事は感動した。入学式は新しい児童生徒と感じた。本日の授業を見て、こんなに成長しているのだと感じた。ヒヤリハット、連携に気を使っていると感じた。
いろいろなことに挑戦して、時代についていけるようになってほしい。

意見3：小学部、中学部、高等部の情報の共有。大切なことだと感じた。
見たもの、聞いたものは蓄積される。
交流の中で何か手伝いができるれば、できる限り協力するように長寿会の人たちに話している。

意見4：初めて障がいのある人たちの授業、特別支援学校を見た。教師が多いと感じた。フォローの体制がしっかりとれると思う。高等学校の評議員をしたことがあるが、ここは保護者の評価が高い。教師が頑張っていることが 保護者に伝わっている。来てよかった。

意見5：小学部の授業を見て、今まで通ってきた道だと思った。学年が上がるごとに落ち着いてくる。保護者の中で高等部3年の進路についての話が出てきているが、本日聞くことができ、よかった。

6 会議のまとめ

今までは、高等部や中学部の就労に向けての取組を見ていただいていたが、今回は学校生活の入り口を見ていただいた。

今年度の教育の報告では、学校評価アンケートから見えてきた成果と課題について、また、各部からの報告では、どのようなことに取り組み、どのような成果があったのか、さらに、課題は何かについて理解していただけたと思う。

今回、評議員の方々からいただいたご意見を、今後の教育活動に生かしていきたい。